

広島交響楽団 新ディスカバリー・シリーズ

ウィーン

黄昏の維納

Dämmerung in Wien 8

～シューベルト・シリーズ完結～

いよいよシューベルト交響曲全曲演奏が終わりを告げようとしています。第1番で、その天才振りに驚嘆した事が懐かしく感じます。彼が死を意識した時期の第7番「未完成」からぐっと深淵な世界に入った彼が最後に放った心の叫び「第8番」を是非聴いて下さい。滅多に演奏されないシェーンベルクと共に。～下野竜也～

2019.1.25 [金] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

シェーンベルク：ヴァイオリン協奏曲

Schönberg: Violin Konzert op.36


シューベルト：交響曲第8番ハ長調「ザ・グレート」


Schubert: Symphonie Nr.8 in C-dur D944 "Die Große"

Concertmaster 佐久間 聡一
Soichi Sakuma

- チケット料金/S席:5,200円 A席:4,200円 B席:3,200円 (学生:1,000円) (学生券は広島事務局のみで取り扱い)
- チケット発売日/一般プレイガイド2018年11月25日(日) / 広島事務局2018年11月26日(月)
- チケット取扱い/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、チケットぴあ(Pコード105-425)、ローソンチケット(Lコード62333)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広島事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催/公益財団法人広島市文化財団
協賛/中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援/広島市、広島市教育委員会

助成/  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

 Affinis
emblème 公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。
お問い合わせ/広島事務局 TEL 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



指揮・下野竜也

Tatsuya Shimono

ヴァイオリン・川久保賜紀



Kimiko Kawaoka


beyond
2020



～愛を込めて～

広島交響楽団 新ディスカバリー・シリーズ

ウィーン

黄昏の維納

Dämmerung in Wien 8

指揮:下野 竜也 *Tatsuya Shimono, Conductor*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ヴァイオリン:川久保 賜紀 *Tamaki Kawakubo, Violin*

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けている。日本では1997年、チョン・ミョンフン指揮 アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共演を重ね、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年は小菅優とのデュオでドイツ・ツアーを行い、また自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮、リサイタルだけではなく室内楽にも積極的に取り組んでいる。2018-19シーズンは、欧米での活動と平行し、国内ではP.インキネン指揮 日本フィルハーモニー交響楽団、下野竜也指揮 広島交響楽団、小泉和裕指揮 東京都交響楽団など、国内主要オーケストラとの共演の他、小菅優とのブラームス:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を中心にソロ&室内楽プロジェクトを幅広く展開する。後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より 桐朋学園大学院大学(富山)教授に就任。5歳の時にヴァイオリンを始め、R.リップセット、D.ディレイ、川崎雅夫、Z.ブロン各氏に師事。



 Affinis
emblème

広響は丁寧な音作りが美しい。響きが息づいている。これはシューベルトの交響作品に最も生きるだろう。シューベルトほど、響きのそこはかとない移り変わりの美しさ、あるいは劇的な転換の深さをかもしだしている作曲家はいないからである。それは爛熟したウィーンの街の裏道の匂いのように、悲しく、楽しく、にぎやかに、寂しく、美しい。下野竜也の指揮、ゲストに半田美和子、川久保賜紀と、響きに繊細な感性の持ち主が集まっているのが嬉しい。(アフィニス文化財団オーケストラ助成委員 梅津 時比古)

 文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

本公演への助成をいただいております文化庁シンボルマークが10月1日より新しいマークに移行しました。それに伴い、広島交響楽団演奏会チラシ、プログラム、HP等での記載マークも変更いたします。